

講座名：多文化共生論講座

注 意 事 項

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の可否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TA0のメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

生物の世界では、アリとアブラムシやイソギンチャクとクマノミのように、異種の生物が同じ場所で生活することで相互に利益を与え合う相利共生 (mutualism) という関係が存在します。このような関係と、人間社会における異種の文化の共生とを比較した場合、どのようなことが言えるでしょうか。具体例を交えて1600字以上の日本語で論じなさい。